

エコエアフローリング <防音省エネ直貼りフローリング>

株式会社 藤林
株式会社トップ工業
2020年12月版

■使用上のポイント



(1) 使用場所

- ①「エコエアフローリング」は内装(住宅用)の床材です。外装、土足歩行にはご使用になれません。
- ②屋内でも浴室など、湯気にさらされたり、水掛かり部位にはご使用になれません。
- ③連続して10mを超えるような場合は、被せ型床見切りを使用してフロアの長さ継ぎを調整して下さい。
- ④床暖房部には不適合な商品ですので、床暖房部に施工する場合は、別途ご相談ください。
- ⑤直射日光に当たったり、雨に濡れるところ、湿気の多いところには保管しないで下さい。

(2) 下地処理

下地処理	下地処理基準
モルタル仕上げ面	・不陸は1mにつき2mm以内とする。
セルフレベルング打設面	・モルタルまたはセルフレベルング打設後、20日以上養生され、含水率が15%程度以下になっていること。 ・セルフレベルングの施工は、各メーカーの仕様書に従い打設してください。

(3) 二重床下地の上に施工する場合は以下の点に注意してください。

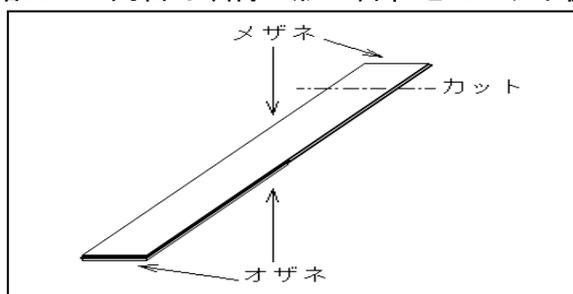
- ①パーティクルボードの上に厚さ9mm以上の捨張合板を施工して下さい。
- ②パーティクルボードに直接施工しないで下さい。パーティクルボードの伸縮により、隙間や浮きが起こる可能性があります。

(4) 接着剤

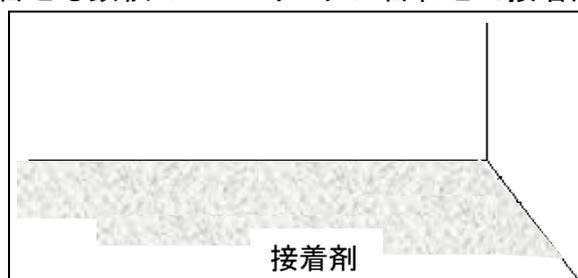
- ①直貼り防音フローリング用の一液湿気硬化型ウレタン樹脂接着剤をご使用ください。
推奨接着剤: コニシ(株)KU928RS、KU928RW ※メーカーの使用説明書に従って正しくご使用ください。

(5) フローリングの施工

- ①色の偏りを防ぐ為、必ず仮並べを行ってから作業に入して下さい。
- ②貼り始めの1列目は、隅の形に合わせてメザネ側をカットして下さい。

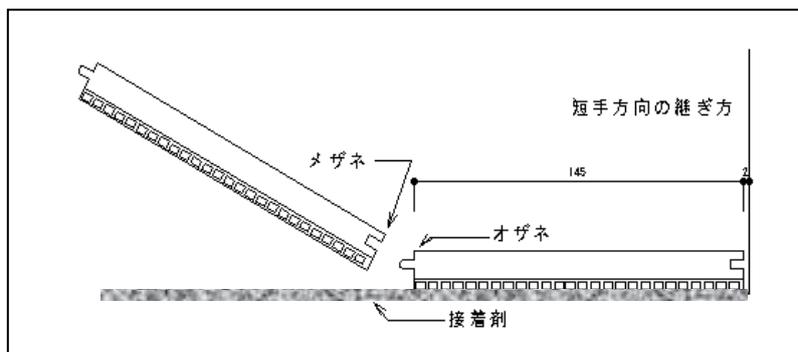


- ③貼り合わせる数枚のフローリングに合わせて接着剤を塗布して下さい。



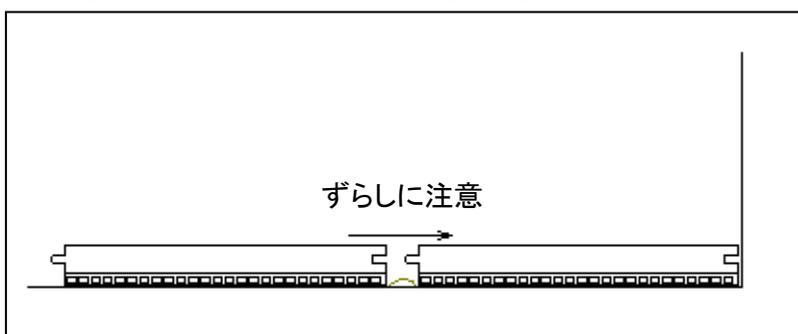
エコエアフローリング <防音省エネ直貼りフローリング>

④2列目以降は1列目のフローリングに沿って施工して下さい。

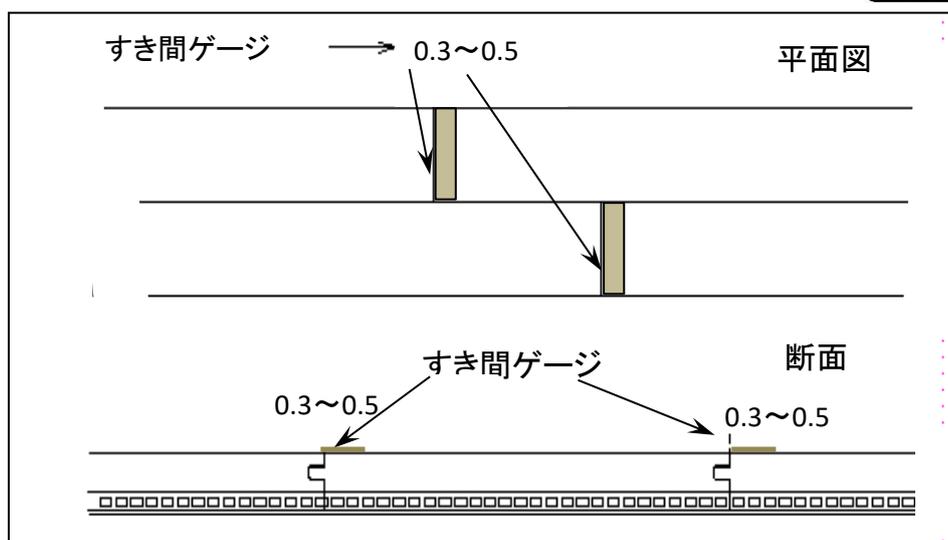


ゴムハンマーを使用する場合は軽く叩いて下さい。

下記のように、ずらしながら寄せると接着剤をかき取り、さね部に接着剤がたまり、床衝撃音遮断性能が悪化したり歩行感が悪くなりますので注意して下さい。



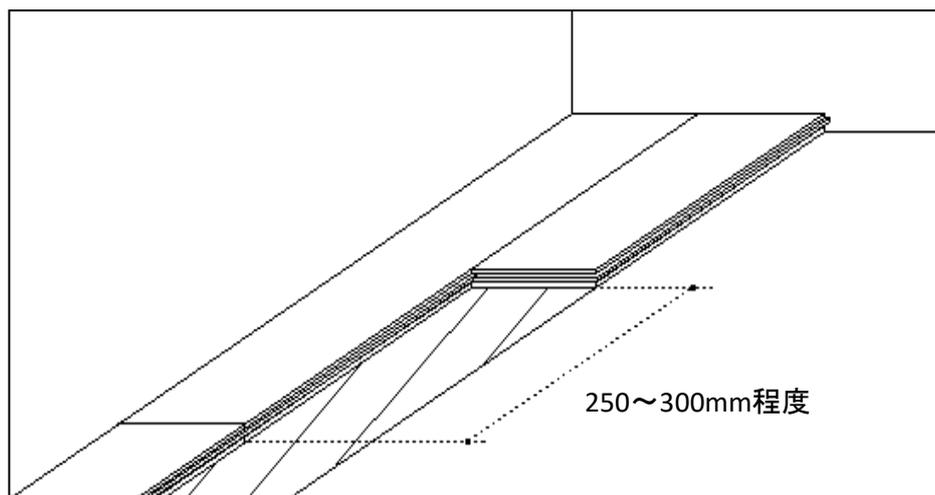
⑤フローリングを接着する際、短手方向の雄さね側に0.3~0.5mmのすき間ゲージ等を当てて施工して下さい。
(湿気等によりフローリングの含水率が上昇することで起こる浮きや波打ちの発生を防止します。)
すき間ゲージは施工翌日から3日後までに抜き取って下さい。



エコエアーフローリング <防音省エネ直貼りフローリング>

⑥長手方向のさな位置が前の列と同じにならないようにずらして貼って下さい。

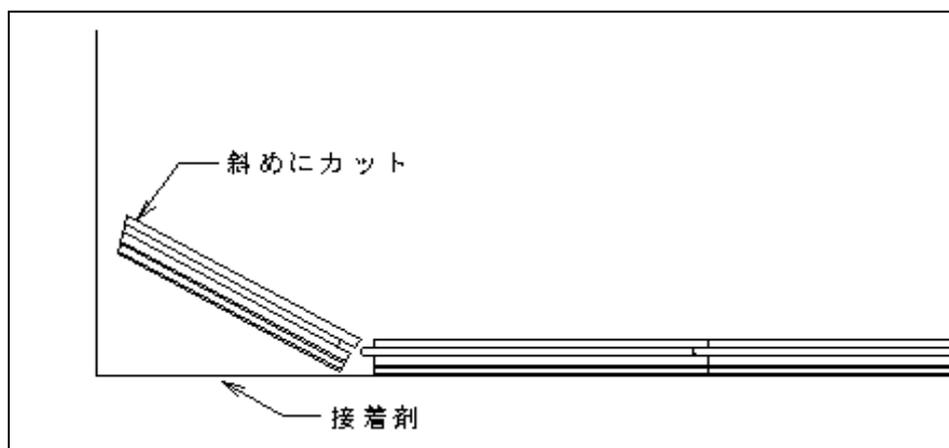
前の列と250～300mm程度ずれるように貼ると仕上がりがきれいです。



⑦貼りじまい

・フローリングをはめ込む形に精寸カットし納まりを確認し、接着剤を塗布し、フローリングを施工して下さい。

・下図のようにフローリングの断面を斜めにカットしておく、はめ込みが楽で、きれいに納まります。



⑧壁・建具枠に接する部分

・壁に接する部分(貼り始め、貼りじまい)の納まりは、壁より2～3mm程度のすき間を取って下さい。

・巾木の取り付けは、フローリング施工後として下さい。

・巾木の厚さは7～9mm程度として下さい。

・建具枠に接する部分の納まりは、突き付けにせず1mm程度のすき間を取って下さい。



この場合、すき間処理はシーリング材での処理をお願いします。

・床見切り材は、被せ型見切り材を使用して下さい。

エコエアフローリング <防音省エネ直貼りフローリング>

(6)養生

- ①接着剤が硬化するまで施工後12時間以上は、他業種の作業や歩き回ったり物を置いたりしないで下さい。
- ②養生をする際は、フローリング面のゴミを掃除機で吸い取り、水濡れや傷から守るためビニールシートや発泡シートなどの養生シート敷き、その上に合板や段ボール紙を敷いて十分に養生して下さい。

<養生シートは次のものが適当です>

- ・両面ポリエチレンフィルム貼クラフト紙
- ・発泡シート(厚さ1.5~2.5mm)
- ・段ボール紙(厚さ1.5~2.5mm)



<養生テープについて>

- ・木質床材専用の養生テープをお使い下さい。
- ・市販の梱包用テープは粘着力が強く、フローリング面にテープが残ったり破損することがありますので、使用しないで下さい。

<ワックス掛けについて>

- ・フローリング表面保護の為、ワックスは年1回塗布して下さい。
- ・ワックスを掛ける時は、フローリング面が十分に乾燥している(水気がない)事を確認して下さい。
- ・ワックスはフローリングの上に直接撒かないで下さい。シミや浮きの原因となります。
- ・ワックスはきれいな布に含ませ、雫が落ちない程度に絞って薄くムラなく塗りひろげて下さい。
- ・フローリング用洗剤を使用する際は、洗剤分が残らないように拭き取ってからワックスを塗って下さい。
- ・ワックス掛けの前後で化学雑巾は使用しないで下さい。変色する原因となります。
- ・室内の温度が5℃以下の時や、雨の日はワックスは使用しないで下さい。変色する原因となります。

(7)お引き渡しまでのご注意



- ①当商品は低ホルムアルデヒドタイプとなっておりますが、できるだけ住戸内の換気に努めて下さい。その際、雨水に濡らさないよう窓の閉め忘れなどにご注意下さい。万が一、水濡れした場合はすぐに拭き取り、十分に乾かして下さい。濡れたままにしておくと、シミになる可能性があります。
- ②日ヤケを防ぐ為、カーテン等によりできるだけ直射日光に当たらないようにして下さい。

株式会社 藤林 (とうりん)

<https://eco-air.jp> Tel: 03-3301-2883

202012版